

Japanese
Churches That Conquer the Laity
TCA-197CHU

信徒たちを征服する 教会



ウィリアム・マリオン・ブラハム



www.messagehub.info

Japanese
Churches That Conquer the Laity
TCA-197CHU

信徒たちを征服する 教会



ウィリアム・マリオン・ブラハム



www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教が
ウィリアムブラナムによって語られたものが
無料でダウンロード可能で又多くの言語で
印刷可能になっています。(日本語での翻訳
あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料
でコピー、配布することは許可されていま
す。

www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教が
ウィリアムブラナムによって語られたものが
無料でダウンロード可能で又多くの言語で
印刷可能になっています。(日本語での翻訳
あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料
でコピー、配布することは許可されていま
す。

www.messagehub.info

信徒たちを征服する教会

「それと同じように、あなたのところにもニコライ派の教えを奉じている人々がいる。わたしはニコライ派を憎んでいる。」

(黙示録 2:15)

エフェゾ時代のところでお伝えしましたが、ニコライという言葉は、二つのギリシャ語の単語からできています。「ニカオ」は、征服を意味し、「ラオ」は普通の人、平民を意味します。だからニコライは、「平信徒を支配する」という意味です。それがなぜそんなに恐ろしいことなのでしょう？ とても恐ろしいのです。なぜなら、神がご自分の教会を、選出された政治的指導者の手に委ねることは決してありえないからです。神がご自分の教会を委ねておられるのは、神に呼ばれ、聖霊で満たされ、みことばによって生きている人たちです。彼らを通して、人々がみことばの糧を得て養われるというのが神のみ旨なのです。神は、聖別された祭司職が大衆を導くようにするため、階級で人を分けることをされません。もちろん指導者は聖別されていなければなりません、会衆全体も聖別されなければなりません。さらに言うなら、聖書のどこにも、司祭や

信徒たちを征服する教会

「それと同じように、あなたのところにもニコライ派の教えを奉じている人々がいる。わたしはニコライ派を憎んでいる。」

(黙示録 2:15)

エフェゾ時代のところでお伝えしましたが、ニコライという言葉は、二つのギリシャ語の単語からできています。「ニカオ」は、征服を意味し、「ラオ」は普通の人、平民を意味します。だからニコライは、「平信徒を支配する」という意味です。それがなぜそんなに恐ろしいことなのでしょう？ とても恐ろしいのです。なぜなら、神がご自分の教会を、選出された政治的指導者の手に委ねることは決してありえないからです。神がご自分の教会を委ねておられるのは、神に呼ばれ、聖霊で満たされ、みことばによって生きている人たちです。彼らを通して、人々がみことばの糧を得て養われるというのが神のみ旨なのです。神は、聖別された祭司職が大衆を導くようにするため、階級で人を分けることをされません。もちろん指導者は聖別されていなければなりません、会衆全体も聖別されなければなりません。さらに言うなら、聖書のどこにも、司祭や

聖職者らが神と人との間の仲介人になることは書かれていませんし、彼らと会衆を、主の礼拝において区別すると記された箇所もありません。神はすべての人に愛され、すべての人が一緒に神に仕えることを願っておられます。ニコライ主義は神のこの指針を破り、代わりに聖職者を会衆と区別し、奉仕するためではなく、君臨するために指導者をたてたのです。

エフェソ時代に、この教えは行為として始まりました。問題は、「長老」(presbyters)と「監督」(bishops)と言う二つの言葉にあるようです。それぞれの教会に長老たちが存在していることを聖書は示していますが、ある者たちが(イグナティウスはその一人)新たな考えを教え始めました。それによると、司教(監督)というのは優秀な者、あるいは権威を持つ者、かつ長老を監督する者ということです。

つまり、「長老」が人間を指すのに対し、「司教」は同じ人物の役職を指すのです。長老は人です。司教は人の役職です。「長老」はこれまでも、これからも、主にあつての年配者をさします。選出されたわけでも命じられたわけでもなく、ただ人より年をとっているから長老なのです。長老は初心者ではなく、ベテランで訓練された者で、キリスト者としての長い体験に培われた信頼性があります。

聖職者らが神と人との間の仲介人になることは書かれていませんし、彼らと会衆を、主の礼拝において区別すると記された箇所もありません。神はすべての人に愛され、すべての人が一緒に神に仕えることを願っておられます。ニコライ主義は神のこの指針を破り、代わりに聖職者を会衆と区別し、奉仕するためではなく、君臨するために指導者をたてたのです。

エフェソ時代に、この教えは行為として始まりました。問題は、「長老」(presbyters)と「監督」(bishops)と言う二つの言葉にあるようです。それぞれの教会に長老たちが存在していることを聖書は示していますが、ある者たちが(イグナティウスはその一人)新たな考えを教え始めました。それによると、司教(監督)というのは優秀な者、あるいは権威を持つ者、かつ長老を監督する者ということです。

つまり、「長老」が人間を指すのに対し、「司教」は同じ人物の役職を指すのです。長老は人です。司教は人の役職です。「長老」はこれまでも、これからも、主にあつての年配者をさします。選出されたわけでも命じられたわけでもなく、ただ人より年をとっているから長老なのです。長老は初心者ではなく、ベテランで訓練された者で、キリスト者としての長い体験に培われた信頼性があります。

しかし司教たちはパウロの書簡にとらわれることなく、むしろ、パウロが長老たちをエペソからミレトに呼び寄せて語った言葉(使徒の働き 12 章)に着目しました。

「パウロは、ミレトからエペソに使いを送って、教会の長老たちを呼んだ。」

(使徒 20:17)

「あなたがたは自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。聖霊は、神がご自分の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたがたを群れの監督にお立てになったのです。」

(使徒 20:28)

節で長老と呼ばれている人たちが、28 節では監督(司教)と呼ばれています。司教たちはこれらの聖書箇所を(政治的思考と権力欲から)誇大解釈して、パウロが言った「監督」に、所属教会を監督する長老の資格以上の意味を与えました。彼らによって、司教は多くの地方指導者を統括する権限を持つ者となったのです。これは聖書的ではありませんし、歴史上も例を見たことがありません。それなのに、徳の人ポリュ

しかし司教たちはパウロの書簡にとらわれることなく、むしろ、パウロが長老たちをエペソからミレトに呼び寄せて語った言葉(使徒の働き 12 章)に着目しました。

「パウロは、ミレトからエペソに使いを送って、教会の長老たちを呼んだ。」

(使徒 20:17)

「あなたがたは自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。聖霊は、神がご自分の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたがたを群れの監督にお立てになったのです。」

(使徒 20:28)

節で長老と呼ばれている人たちが、28 節では監督(司教)と呼ばれています。司教たちはこれらの聖書箇所を(政治的思考と権力欲から)誇大解釈して、パウロが言った「監督」に、所属教会を監督する長老の資格以上の意味を与えました。彼らによって、司教は多くの地方指導者を統括する権限を持つ者となったのです。これは聖書的ではありませんし、歴史上も例を見たことがありません。それなのに、徳の人ポリュ

カルポスでさえ、そのような組織に心を寄せてしまいました。

こうして、エペソ時代に行為から始まったものが、堂々たる教義となり、こんにちに至っています。司教は人を支配下におき、彼らを意のままに取り扱い、人事を操ることを当然の権利と思っています。これは、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた、聖霊の主導権を真っ向から否定する行為です。これは反聖書、反キリストです。

「そこで、イエスは彼らと呼ばい寄せ、言われた。『あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者たちは彼ら@@を支配し、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。

あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。

あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、あなたがたの僕になりなさい。人の子が来たのが、仕えられるた

カルポスでさえ、そのような組織に心を寄せてしまいました。

こうして、エペソ時代に行為から始まったものが、堂々たる教義となり、こんにちに至っています。司教は人を支配下におき、彼らを意のままに取り扱い、人事を操ることを当然の権利と思っています。これは、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた、聖霊の主導権を真っ向から否定する行為です。これは反聖書、反キリストです。

「そこで、イエスは彼らと呼ばい寄せ、言われた。『あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者たちは彼ら@@を支配し、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。

あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。

あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、あなたがたの僕になりなさい。人の子が来たのが、仕えられるた

誉を刻んでもらい、世間から賞賛を受けるがいい。いつか、すべてを見てご存知の神がもう一度、やもめがレプタ銅貨二つを献金するのを見て、彼女は全財産をささげたと評価されることでしょう。そして神ご自身が天の宝のご褒美を与えてくださいます。

そうです、それは隠されていたマナと新しい名前が記された白い石です。主はなんと私たちによくしてくださいることでしょう。驚くような報いを、それに値しない私たちに与えてくださるとは。主のみ旨に答えることができるよう、私はいつでも用意したいです。そして天に宝を積むのです。

誉を刻んでもらい、世間から賞賛を受けるがいい。いつか、すべてを見てご存知の神がもう一度、やもめがレプタ銅貨二つを献金するのを見て、彼女は全財産をささげたと評価されることでしょう。そして神ご自身が天の宝のご褒美を与えてくださいます。

そうです、それは隠されていたマナと新しい名前が記された白い石です。主はなんと私たちによくしてくださいることでしょう。驚くような報いを、それに値しない私たちに与えてくださるとは。主のみ旨に答えることができるよう、私はいつでも用意したいです。そして天に宝を積むのです。

それは私たちに共通の名前です。しかしいつの日か、私たちには必ずまた新しい名前が与えられます。それは、大地が造られる前から子羊の書に記された、私たち本来の名前です。今はその名を知りませんが、いつか、主の喜びのために私たちにも明かされることでしょう。

白い石、なんと美しいことでしょう。聖徒が地上での試練の償いとして、神の手から受け取るものです。コンスタンティヌス帝以来、偽の教会は国家の宝庫に手を入れることができるようになり、美しい像で飾られた立派な建物を建てました。白い大理石で造られた像は、実際はローマの偶像に聖人の名前をつけ替えたものでした。教会の建物と装飾は、こんち見てもわかるとおり、非常な美しさをたたえていました。しかし神はそこにおられません。ではどこにおられたのでしょうか。神は、小さな家や、洞穴や険しい山岳地方に、偽の教会から隠れて住んでいる聖徒たちと共におられました。彼らには美しい建物も、衣装を着た聖歌隊も、綺麗な服も、この世的楽しみもありませんでした。でも、この特別な約束によって神は、すべての時代の真の信者に、極めて美しく永遠に朽ち果てないご褒美を与えると宣言されました。富んでいる者は貧しい者をさげすむがよい。教会に多額の献金をして、見返りとして大理石のプレートや記念碑に名

それは私たちに共通の名前です。しかしいつの日か、私たちには必ずまた新しい名前が与えられます。それは、大地が造られる前から子羊の書に記された、私たち本来の名前です。今はその名を知りませんが、いつか、主の喜びのために私たちにも明かされることでしょう。

白い石、なんと美しいことでしょう。聖徒が地上での試練の償いとして、神の手から受け取るものです。コンスタンティヌス帝以来、偽の教会は国家の宝庫に手を入れることができるようになり、美しい像で飾られた立派な建物を建てました。白い大理石で造られた像は、実際はローマの偶像に聖人の名前をつけ替えたものでした。教会の建物と装飾は、こんち見てもわかるとおり、非常な美しさをたたえていました。しかし神はそこにおられません。ではどこにおられたのでしょうか。神は、小さな家や、洞穴や険しい山岳地方に、偽の教会から隠れて住んでいる聖徒たちと共におられました。彼らには美しい建物も、衣装を着た聖歌隊も、綺麗な服も、この世的楽しみもありませんでした。でも、この特別な約束によって神は、すべての時代の真の信者に、極めて美しく永遠に朽ち果てないご褒美を与えると宣言されました。富んでいる者は貧しい者をさげすむがよい。教会に多額の献金をして、見返りとして大理石のプレートや記念碑に名

めでなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。』」

(マタイ 20:25-28)

「しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはいけません。あなたがたの教師はただひとりしかなく、あなたがたはみな兄弟だからです。あなたがたは地上のだれかを、われらの父と呼んではいけません。あなたがたの父はただひとり、すなわち天にいます父だけだからです。」

(マタイ 23:8-9)

ニコライ宗の教義

ニコライ主義について、もつとはっきり説明しましょう。聖書は、

「その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従った」

めでなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。』」

(マタイ 20:25-28)

「しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはいけません。あなたがたの教師はただひとりしかなく、あなたがたはみな兄弟だからです。あなたがたは地上のだれかを、われらの父と呼んではいけません。あなたがたの父はただひとり、すなわち天にいます父だけだからです。」

(マタイ 23:8-9)

ニコライ宗の教義

ニコライ主義について、もつとはっきり説明しましょう。聖書は、

「その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従った」

(黙示録 13:3)と記しています。

傷を負った頭が異教徒のローマ帝国であることはすでにお知らせしました。その世界的に強大な政治的頭が、今度は「ローマ・カトリック霊的帝国」として復活したのです。ここに注意してください。異教徒の政治的ローマが勢力を拡大させた鍵は何でしょう。それは、「分裂させ、征服した」ことです。ローマの政策の種は分離と征服です。ローマは鉄の歯で噛み砕きました。彼女に食いちぎられたものは、カルタゴが彼女によって破壊されたときのように、二度と立ち上がることができなくなりました。同じ鉄の種が、彼女が偽の教会として復活したときに残っていて、同じ政策「分離と征服」も残っていました。それがニコライ主義で、神はそれを憎んでおられます。

さて、これはよく知られた歴史的事実ですが、教会に誤りが入り込んだあと、人々は司教の職を得ようと競い合いました。その結果、司教の地位には、教育が高く、物質的に向上心があり、政治的関心の強い人物が選ばれるようになりました。人の知識や企画が、神の知恵の座を乗っ取り、聖霊の押さえはきかなくなりました。これは本当に悲惨な悪の行為です。司教はずっとその地位を維持し続けるようになりました。彼らはもはや、教会でみことばを教えたり儀式を行うために必須である、キリスト者としての率直な資質を

(黙示録 13:3)と記しています。

傷を負った頭が異教徒のローマ帝国であることはすでにお知らせしました。その世界的に強大な政治的頭が、今度は「ローマ・カトリック霊的帝国」として復活したのです。ここに注意してください。異教徒の政治的ローマが勢力を拡大させた鍵は何でしょう。それは、「分裂させ、征服した」ことです。ローマの政策の種は分離と征服です。ローマは鉄の歯で噛み砕きました。彼女に食いちぎられたものは、カルタゴが彼女によって破壊されたときのように、二度と立ち上がるができなくなりました。同じ鉄の種が、彼女が偽の教会として復活したときに残っていて、同じ政策「分離と征服」も残っていました。それがニコライ主義で、神はそれを憎んでおられます。

さて、これはよく知られた歴史的事実ですが、教会に誤りが入り込んだあと、人々は司教の職を得ようと競い合いました。その結果、司教の地位には、教育が高く、物質的に向上心があり、政治的関心の強い人物が選ばれるようになりました。人の知識や企画が、神の知恵の座を乗っ取り、聖霊の押さえはきかなくなりました。これは本当に悲惨な悪の行為です。司教はずっとその地位を維持し続けるようになりました。彼らはもはや、教会でみことばを教えたり儀式を行うために必須である、キリスト者としての率直な資質を

います。それ以外に、主ご自身の及びもつかない豊かさについて、どのようにして知り始めることができるでしょう。ずっと知りたいと願っていたこと、未解決の疑問が、すべてははっきりとわかるようになるでしょう。私たちのいのちであるキリストが、解き明かしてくださるのです。今でもときどき、少しでもキリストがわかったり、みことばを飲みこめたりしたとき、心が晴れやかになり、嬉しくなります。でもいつの日か、私たちの肉体が変化するときには、みことばと主は、夢にも思わなかった現実となります。

イエスは、勝利を得る者に白い石を与えるとも約束されました。その石の内には(表面でなく)、本人以外は知らない新しい名前が記されています。新しい名前というのは、古くからあるものです。アブラムはアブラハムになりましたし、サライはサラになりました。ヤコブはイスラエルに、シモンはペトロに、サウロはパウロになりました。新しい名前がつけられて変化が起こるか、変化が起こったから新しい名前がつけられたか、どちらかです。アブラムとサライは主によって名前を変えられてから、約束の子を受ける用意ができました。ヤコブの場合は、戦いに勝ってから王子と呼ばれました。シモンとサウロの場合は、主を受け入れてから名前が変えられました。そしてこんにち、真の信者の名前は変えられています。私たちはクリスチャンです。

います。それ以外に、主ご自身の及びもつかない豊かさについて、どのようにして知り始めることができるでしょう。ずっと知りたいと願っていたこと、未解決の疑問が、すべてははっきりとわかるようになるでしょう。私たちのいのちであるキリストが、解き明かしてくださるのです。今でもときどき、少しでもキリストがわかったり、みことばを飲みこめたりしたとき、心が晴れやかになり、嬉しくなります。でもいつの日か、私たちの肉体が変化するときには、みことばと主は、夢にも思わなかった現実となります。

イエスは、勝利を得る者に白い石を与えるとも約束されました。その石の内には(表面でなく)、本人以外は知らない新しい名前が記されています。新しい名前というのは、古くからあるものです。アブラムはアブラハムになりましたし、サライはサラになりました。ヤコブはイスラエルに、シモンはペトロに、サウロはパウロになりました。新しい名前がつけられて変化が起こるか、変化が起こったから新しい名前がつけられたか、どちらかです。アブラムとサライは主によって名前を変えられてから、約束の子を受ける用意ができました。ヤコブの場合は、戦いに勝ってから王子と呼ばれました。シモンとサウロの場合は、主を受け入れてから名前が変えられました。そしてこんにち、真の信者の名前は変えられています。私たちはクリスチャンです。

れから主が来られます。それぞれの時代に、使者は隠されていた真理を受け取りました。しかし彼らのためだけに受け取ったではありませんでした。主が弟子たちに、パンと魚で大衆に食事を与えるように言われたときと同じです。イエスはパンを割いて弟子たちに与え、弟子たちはそれを人々に与えました。神は隠されたマナを勝利を得る者に与えられます。すでに明らかになった真理を足蹴にする人に、神は宝物を開放されません。

本来与えられた聖霊降臨の真理が、神から徐々に各時代の使者に明らかにされたきたということ、旧約聖書に前例として見る事ができます。モーゼが正味1オメルのマナを金の壺に収め、至聖所の奥に置くよう命令を受けたというところです。代々の大祭司は犠牲の血を携えて至聖所に入ることができました。そこで大祭司は壺の中の決して腐ることのないマナを少し削り取り食べることができました。さて、主の使者は神から啓示を与えられました。真理に照らされた使者は、その真理を人々に伝えました。聖霊によって聞く耳が与えられている人々はその真理を聞き、信じ、その真理に従って生きていきます。

ところで、隠されているマナの食事に、将来あずかるという考え方があります。私は、それはイエス・キリストの神秘が永遠に解き明かされていくことだと思

れから主が来られます。それぞれの時代に、使者は隠されていた真理を受け取りました。しかし彼らのためだけに受け取ったではありませんでした。主が弟子たちに、パンと魚で大衆に食事を与えるように言われたときと同じです。イエスはパンを割いて弟子たちに与え、弟子たちはそれを人々に与えました。神は隠されたマナを勝利を得る者に与えられます。すでに明らかになった真理を足蹴にする人に、神は宝物を開放されません。

本来与えられた聖霊降臨の真理が、神から徐々に各時代の使者に明らかにされたきたということ、旧約聖書に前例として見る事ができます。モーゼが正味1オメルのマナを金の壺に収め、至聖所の奥に置くよう命令を受けたというところです。代々の大祭司は犠牲の血を携えて至聖所に入ることができました。そこで大祭司は壺の中の決して腐ることのないマナを少し削り取り食べることができました。さて、主の使者は神から啓示を与えられました。真理に照らされた使者は、その真理を人々に伝えました。聖霊によって聞く耳が与えられている人々はその真理を聞き、信じ、その真理に従って生きていきます。

ところで、隠されているマナの食事に、将来あずかるという考え方があります。私は、それはイエス・キリストの神秘が永遠に解き明かされていくことだと思

必要としなくなりました。パンとぶどう酒と式典だけが重視されるようになったからです。悪者(誘惑する者)が羊の群れを引き裂く土壌ができました。

司教の地位を昇進させることは人が作り出した考えであって、聖書とは一致しません。しかし彼らが次にしたのは、階級的称号の授与で、それによりキリスト教に階層制度ができました。まもなく、司教の上位には大司教が、大司教の上には枢機卿が置かれるようになしました。そしてボニファティウス 3 世の時代から、教皇がすべての聖職の頂点に立つようになりました。ローマの神官、ローマ教皇です。

ニコライ派の教義と、キリスト教とバビロン信仰の融合によって得られた最終結果は、エゼキエルが目撃したものです。

「私が入って行って見ると、なんと、
はうものや忌むべき獣のあらゆる像
や、イスラエルの家のすべての偶像が、
回りの壁一面に彫られていた。」

(エゼキエル 8:10)

「彼は力強い声で叫んで言った。
「倒れた。大バビロンが倒れた。そして
悪霊の住まい、あらゆる汚れた霊ども

必要としなくなりました。パンとぶどう酒と式典だけが重視されるようになったからです。悪者(誘惑する者)が羊の群れを引き裂く土壌ができました。

司教の地位を昇進させることは人が作り出した考えであって、聖書とは一致しません。しかし彼らが次にしたのは、階級的称号の授与で、それによりキリスト教に階層制度ができました。まもなく、司教の上位には大司教が、大司教の上には枢機卿が置かれるようになしました。そしてボニファティウス 3 世の時代から、教皇がすべての聖職の頂点に立つようになりました。ローマの神官、ローマ教皇です。

ニコライ派の教義と、キリスト教とバビロン信仰の融合によって得られた最終結果は、エゼキエルが目撃したものです。

「私が入って行って見ると、なんと、
はうものや忌むべき獣のあらゆる像
や、イスラエルの家のすべての偶像が、
回りの壁一面に彫られていた。」

(エゼキエル 8:10)

「彼は力強い声で叫んで言った。
「倒れた。大バビロンが倒れた。そして
悪霊の住まい、あらゆる汚れた霊ども

の巣くつ、あらゆる汚れた、憎むべき鳥
どもの巣くつとなった。それは、すべて
の国々の民が、彼女の不品行に対する
御怒りのぶどう酒を飲んだからだ。」

(黙示録 18:2)

このニコライ派の教え、彼らが教会に制定した規則は、きちんと適用されていたとは言えませんでした。多くの人は、当時残っていた、神の人が書いた手紙や随筆を読むことができたからです。では次に教会は何をしたのでしょうか？ 正しい教えをする教師を追放し、聖書を焼き、そして言いました、「聖書を読んで理解するためには特別な教育が必要だ。パウロが書いた多くのものを理解するのは難しいと、ペトロが言ったのが証拠だ。」それから人々は、司祭が語ることだけを聞き、司祭が指示することだけをするようになりました。司祭たちはそれを神と呼び、神の神聖なことばと呼びました。彼らは人々の精神と生活をとりあげ、人々を横暴な聖職者の召使いにしまいました。

カトリック教会が人民の生活や精神に干渉した証拠に、以下のテオドシウスの勅令があります。

この勅令は、テオドシウス帝がローマ第一教会で洗礼を受けて間もなく、発令されました。「私たち(テ

れたマナを与える。」マナは天使の食べ物で、イスラエルが放浪しているとき、神が草の上にそれを降らせて、イスラエルを養われました。それは完全食と言えるでしょう。小さな粒のような食べ物が、イスラエルを病気知らずの健康体にしたのですから。彼らが契約の箱を造ったとき、マナがその中に収められました。それから契約の箱は至聖所の幕の奥に設置され、大祭司のみが、いけにえの血をたずさえて、近づくことを許されました。マナとして象徴される天からのパンは、あるとき天から降りてきました。そして彼を信じるすべての人のいのちとなりました。「わたしはいのちのパンである。わたしは天から降った生きたパンである。誰でもこのパンを食べるなら、そのものは永遠に生きる。」主が去ったとき、みことばを残されました。「人はパンのみにて生きるのではない。神の口から出るひとつひとつのことばによって生きるのである。」

主のことばはパンでした。完璧なマナで、もし人がそれによって生きるならば、その人は死にません。しかし先祖が亡くなったあとは、真理を知る者がいなくなりました。そしてまもなく、このマナは人々から隠されてしまいました。しかしどの時代にも、神は徐々に啓示を与え、真理を取り戻すことができるようにされました。そしてこの終わりの日に、黙示録 10:7 によれば、預言者が現れてすべての神秘が明らかにされ、そ

の巣くつ、あらゆる汚れた、憎むべき鳥
どもの巣くつとなった。それは、すべて
の国々の民が、彼女の不品行に対する
御怒りのぶどう酒を飲んだからだ。」

(黙示録 18:2)

このニコライ派の教え、彼らが教会に制定した規則は、きちんと適用されていたとは言えませんでした。多くの人は、当時残っていた、神の人が書いた手紙や随筆を読むことができたからです。では次に教会は何をしたのでしょうか？ 正しい教えをする教師を追放し、聖書を焼き、そして言いました、「聖書を読んで理解するためには特別な教育が必要だ。パウロが書いた多くのものを理解するのは難しいと、ペトロが言ったのが証拠だ。」それから人々は、司祭が語ることだけを聞き、司祭が指示することだけをするようになりました。司祭たちはそれを神と呼び、神の神聖なことばと呼びました。彼らは人々の精神と生活をとりあげ、人々を横暴な聖職者の召使いにしまいました。

カトリック教会が人民の生活や精神に干渉した証拠に、以下のテオドシウスの勅令があります。

この勅令は、テオドシウス帝がローマ第一教会で洗礼を受けて間もなく、発令されました。「私たち(テ

れたマナを与える。」マナは天使の食べ物で、イスラエルが放浪しているとき、神が草の上にそれを降らせて、イスラエルを養われました。それは完全食と言えるでしょう。小さな粒のような食べ物が、イスラエルを病気知らずの健康体にしたのですから。彼らが契約の箱を造ったとき、マナがその中に収められました。それから契約の箱は至聖所の幕の奥に設置され、大祭司のみが、いけにえの血をたずさえて、近づくことを許されました。マナとして象徴される天からのパンは、あるとき天から降りてきました。そして彼を信じるすべての人のいのちとなりました。「わたしはいのちのパンである。わたしは天から降った生きたパンである。誰でもこのパンを食べるなら、そのものは永遠に生きる。」主が去ったとき、みことばを残されました。「人はパンのみにて生きるのではない。神の口から出るひとつひとつのことばによって生きるのである。」

主のことばはパンでした。完璧なマナで、もし人がそれによって生きるならば、その人は死にません。しかし先祖が亡くなったあとは、真理を知る者がいなくなりました。そしてまもなく、このマナは人々から隠されてしまいました。しかしどの時代にも、神は徐々に啓示を与え、真理を取り戻すことができるようにされました。そしてこの終わりの日に、黙示録 10:7 によれば、預言者が現れてすべての神秘が明らかにされ、そ

私「ああ、なんてことでしょう。これが、ずっと恐れていたことの答えなののでしょうか。」彼「私たちはここで主が来られるまで安息しています。」

私「私は主にお会いしたい。」彼「今はまだ主に会うことはできません。しかし主はすぐに来られます。主が来られるとき、まずあなたが最初に主に会うことになります。そしてあなたが説いた福音の内容によって裁定がくだるでしょう。私たちはあなたの産物です。」

私「それでは私はこれらの人たちに責任があると言うのですか？」彼「みんなにです。あなたは生まれつきの指導者でした。」私「全員に責任があると言うなら、聖パウロはどうなのでしょう？」彼「彼は彼の時代に責任があります。」私「それなら、私はパウロがしたのと同じ福音を説教しました。」すると、大衆が答えました、「私たちはそれに希望をかけています。」

そうです、神は忠実に任務を果たした使者に、特別なご褒美をくださいます。使者たちが当世のみことばの啓示を受け、そのとおりに説教し、説教したとおりに生きるならば、彼らは大きな報酬を受けるでしょう。

さて、このことを念頭において、もう一度聖書箇所を読んでみましょう。「わたしは勝利を得る者に隠

私「ああ、なんてことでしょう。これが、ずっと恐れていたことの答えなののでしょうか。」彼「私たちはここで主が来られるまで安息しています。」

私「私は主にお会いしたい。」彼「今はまだ主に会うことはできません。しかし主はすぐに来られます。主が来られるとき、まずあなたが最初に主に会うことになります。そしてあなたが説いた福音の内容によって裁定がくだるでしょう。私たちはあなたの産物です。」

私「それでは私はこれらの人たちに責任があると言うのですか？」彼「みんなにです。あなたは生まれつきの指導者でした。」私「全員に責任があると言うなら、聖パウロはどうなのでしょう？」彼「彼は彼の時代に責任があります。」私「それなら、私はパウロがしたのと同じ福音を説教しました。」すると、大衆が答えました、「私たちはそれに希望をかけています。」

そうです、神は忠実に任務を果たした使者に、特別なご褒美をくださいます。使者たちが当世のみことばの啓示を受け、そのとおりに説教し、説教したとおりに生きるならば、彼らは大きな報酬を受けるでしょう。

さて、このことを念頭において、もう一度聖書箇所を読んでみましょう。「わたしは勝利を得る者に隠

オドシウスとグラティアヌス、ウァレンティアヌスの3人の東西ローマ皇帝)は、使徒ペトロがローマ人にもたらし、ローマ教皇ダマスス 1 世とアレクサンドリア総主教ペトロス 2 世が支持する、父と子と聖霊の三位一体性を信仰することを強く勧める。私たちは、この信仰を支持する者を普遍的(カトリック)クリスチャンと呼ぶことを命じる。これ以外の宗教を信じる愚かな者たちには、異端者という不名誉な名前を与え、教会という名前で秘密の礼拝集会を持つことを禁じる。彼らには神の裁きが下ることになるが、その前に、天からの知恵を授かっている我々の権威で重罰を彼らに与えなければならない。……」

この皇帝が発令した 15 の刑法は長年効力を持ち、福音を宣教するためのあらゆる権利を剥奪しました。福音を宣教する者を公の場から締め出し、彼らに罰金、没収、追放を科すると脅し、死を宣告することもありました。

こんにち私たちにも、同じ運命がやって来ようとしているのに気づいていますか？

ローマ・カトリック教会は、母なる教会、最初の教会と称しています。そのとおり。彼女はローマに最初にできた第一教会で、墮落して罪に陥った教会です。初めに組織化した教会です。ニコライ主義の行為が

オドシウスとグラティアヌス、ウァレンティアヌスの3人の東西ローマ皇帝)は、使徒ペトロがローマ人にもたらし、ローマ教皇ダマスス 1 世とアレクサンドリア総主教ペトロス 2 世が支持する、父と子と聖霊の三位一体性を信仰することを強く勧める。私たちは、この信仰を支持する者を普遍的(カトリック)クリスチャンと呼ぶことを命じる。これ以外の宗教を信じる愚かな者たちには、異端者という不名誉な名前を与え、教会という名前で秘密の礼拝集会を持つことを禁じる。彼らには神の裁きが下ることになるが、その前に、天からの知恵を授かっている我々の権威で重罰を彼らに与えなければならない。……」

この皇帝が発令した 15 の刑法は長年効力を持ち、福音を宣教するためのあらゆる権利を剥奪しました。福音を宣教する者を公の場から締め出し、彼らに罰金、没収、追放を科すると脅し、死を宣告することもありました。

こんにち私たちにも、同じ運命がやって来ようとしているのに気づいていますか？

ローマ・カトリック教会は、母なる教会、最初の教会と称しています。そのとおり。彼女はローマに最初にできた第一教会で、墮落して罪に陥った教会です。初めに組織化した教会です。ニコライ主義の行為が

なされ、のちにはそれが教義となって培われている教会です。彼女が母であることを疑う余地はないでしょう。この教会は母であり、娘たちを産みました。女から娘が生まれたのです。女は緋の衣をまとい、ローマの七つの丘の上に座しています。彼女は売春婦で、娘たちを産みました。その娘たちとは、プロテスタント教会のことで、カトリックから出ましたが、組織化してニコライ主義に戻りました。娘教会を産んだ母は大淫婦と呼ばれています。結婚の誓いに不誠実な女で、神と結婚したのに、悪魔と不貞を犯し、その結果彼女に似た娘たちを産みました。この母と娘を合わせて、みことばに反するもの、御霊に反するもの、つまり反キリストといいます。そうです。彼女たちは反キリストです。

さて、初期の司祭たちは、自分たちをみことばの権威の上に置いていました。彼らは、人々が罪を告白すれば、司祭はその罪を許すことができると教えていました。それはまったくの誤りです。2世紀から、彼らは赤子に洗礼を授け始めました。また、再生のための洗礼の秘蹟というものを行いました。こんにち、人々が混乱しているのは無理ありません。聖霊降臨からそう時間が経っていなかった時代にすでにこのように混乱していたのですから。そしてそれから 2000 年間も、本物の真理から離れてきたのですから、当然のごとく絶望的な状態にあるのです。

なされ、のちにはそれが教義となって培われている教会です。彼女が母であることを疑う余地はないでしょう。この教会は母であり、娘たちを産みました。女から娘が生まれたのです。女は緋の衣をまとい、ローマの七つの丘の上に座しています。彼女は売春婦で、娘たちを産みました。その娘たちとは、プロテスタント教会のことで、カトリックから出ましたが、組織化してニコライ主義に戻りました。娘教会を産んだ母は大淫婦と呼ばれています。結婚の誓いに不誠実な女で、神と結婚したのに、悪魔と不貞を犯し、その結果彼女に似た娘たちを産みました。この母と娘を合わせて、みことばに反するもの、御霊に反するもの、つまり反キリストといいます。そうです。彼女たちは反キリストです。

さて、初期の司祭たちは、自分たちをみことばの権威の上に置いていました。彼らは、人々が罪を告白すれば、司祭はその罪を許すことができると教えていました。それはまったくの誤りです。2世紀から、彼らは赤子に洗礼を授け始めました。また、再生のための洗礼の秘蹟というものを行いました。こんにち、人々が混乱しているのは無理ありません。聖霊降臨からそう時間が経っていなかった時代にすでにこのように混乱していたのですから。そしてそれから 2000 年間も、本物の真理から離れてきたのですから、当然のごとく絶望的な状態にあるのです。

も幻を見てきましたが、一度も自分の体を離れたことがなかったからです。しかしこのとき、私は体を離れて上っていき自分の妻を見下ろし、また自分の体が彼女の側で横たわっているのを見ました。それから自分が今まで見たことのない最も美しい場所にいるのに気付きました。そこは天国でした。大勢の美しくて幸せに満ちた人々を見ました。だれもが 18 歳から 21 歳くらいに見えました。白髪やしわがなく、完全な姿をしていました。若い女性は腰まで髪を伸ばし、若い男性はハンサムで力強そうでした。彼らからなんという歓迎を受けたことか。私に抱きついて、愛しい兄弟と呼び、絶えず「どんなに会えて嬉しいことか」と言ってくれました。この人たちがだれなのか不思議に思っていると、横にいた人が「彼らはあなたのものだよ。」と言いました。

私は驚いて尋ねました、「みんなブランハムの一族ですか？」

彼「そうではなくて、彼らはあなたが回心に導いた人たちです」

と答え、ひとりの女性を指して言いました、「さっきあなたが見とれていたあの若い女性を御覧なさい。彼女は、あなたが主に導いたとき、90 歳だったのですよ。」

も幻を見てきましたが、一度も自分の体を離れたことがなかったからです。しかしこのとき、私は体を離れて上っていき自分の妻を見下ろし、また自分の体が彼女の側で横たわっているのを見ました。それから自分が今まで見たことのない最も美しい場所にいるのに気付きました。そこは天国でした。大勢の美しくて幸せに満ちた人々を見ました。だれもが 18 歳から 21 歳くらいに見えました。白髪やしわがなく、完全な姿をしていました。若い女性は腰まで髪を伸ばし、若い男性はハンサムで力強そうでした。彼らからなんという歓迎を受けたことか。私に抱きついて、愛しい兄弟と呼び、絶えず「どんなに会えて嬉しいことか」と言ってくれました。この人たちがだれなのか不思議に思っていると、横にいた人が「彼らはあなたのものだよ。」と言いました。

私は驚いて尋ねました、「みんなブランハムの一族ですか？」

彼「そうではなくて、彼らはあなたが回心に導いた人たちです」

と答え、ひとりの女性を指して言いました、「さっきあなたが見とれていたあの若い女性を御覧なさい。彼女は、あなたが主に導いたとき、90 歳だったのですよ。」

各時代の手紙は、御使い(人間の御使い)宛になっています。御使いにはとても大きな責任と素晴らしい特権が与えられています。これらの人たちに、神は特別な約束を与えました。例えば十二使徒には、十二の御座に座ってイスラエルの十二部族を裁くことが約束されています。パウロには特別な約束が与えられました。それは、彼の時代の花嫁をイエスに引き合わせることです。

「というのも、私は神の熱心をもって、熱心にあなたがたのことを思っているからです。私はあなたがたを、清純な処女として、ひとりの人の花嫁に定め、キリストにささげることにしたからです。」

(2コリント 11:2)

このように、各時代のみことばに忠実だったすべての御使いに約束が用意されています。最後の時代でも、パウロに与えられたのと同じ特別なご褒美があることでしょう。私はずっと、主に会わないで死ぬことを恐れていました。多くの過ちを犯してしまったので、主は喜んではおられないと思っていたからです。ある朝、そんなことを考えていると、突然とても奇妙な幻にとらわれました。奇妙なと言ったのは、今まで何千回

各時代の手紙は、御使い(人間の御使い)宛になっています。御使いにはとても大きな責任と素晴らしい特権が与えられています。これらの人たちに、神は特別な約束を与えました。例えば十二使徒には、十二の御座に座ってイスラエルの十二部族を裁くことが約束されています。パウロには特別な約束が与えられました。それは、彼の時代の花嫁をイエスに引き合わせることです。

「というのも、私は神の熱心をもって、熱心にあなたがたのことを思っているからです。私はあなたがたを、清純な処女として、ひとりの人の花嫁に定め、キリストにささげることにしたからです。」

(2コリント 11:2)

このように、各時代のみことばに忠実だったすべての御使いに約束が用意されています。最後の時代でも、パウロに与えられたのと同じ特別なご褒美があることでしょう。私はずっと、主に会わないで死ぬことを恐れていました。多くの過ちを犯してしまったので、主は喜んではおられないと思っていたからです。ある朝、そんなことを考えていると、突然とても奇妙な幻にとらわれました。奇妙なと言ったのは、今まで何千回

教会よ、神の教会よ、一つだけ希望があります。それはみことばに戻って、みことばを守ることです。

バラムの教え

「あなたのうちに、バラムの教えを奉じている人々がいる。バラムはバラクに教えて、イスラエルの人々の前に、躓きの石を置き、偶像の神にささげた物を食べさせ、また不品行を行わせた。」

(黙示録 2:14)

さて、ニコライ派の仕組みを教会に取り込んでしまったら、もう一つの教えを取り込まないわけにはいきません。もし、神のことばと霊の働きを取り除いて礼拝するとしたら、(わたしを礼拝する者は、霊と真をもって礼拝するのだ)その代わりとなるものを礼拝に取り入れる必要があります。その代替物がバラムのまじないです。

新約時代の教会におけるバラムの教えを理解するためには、まず旧約時代の教会に戻って調べる必要があります。そしてそれをペルガモ時代に当てはめ、そして現代に当てはめます。

バラムの話は、民数記 22-25 章に出てきます。

教会よ、神の教会よ、一つだけ希望があります。それはみことばに戻って、みことばを守ることです。

バラムの教え

「あなたのうちに、バラムの教えを奉じている人々がいる。バラムはバラクに教えて、イスラエルの人々の前に、躓きの石を置き、偶像の神にささげた物を食べさせ、また不品行を行わせた。」

(黙示録 2:14)

さて、ニコライ派の仕組みを教会に取り込んでしまったら、もう一つの教えを取り込まないわけにはいきません。もし、神のことばと霊の働きを取り除いて礼拝するとしたら、(わたしを礼拝する者は、霊と真をもって礼拝するのだ)その代わりとなるものを礼拝に取り入れる必要があります。その代替物がバラムのまじないです。

新約時代の教会におけるバラムの教えを理解するためには、まず旧約時代の教会に戻って調べる必要があります。そしてそれをペルガモ時代に当てはめ、そして現代に当てはめます。

バラムの話は、民数記 22-25 章に出てきます。

イスラエルは選ばれた神の民で、旧約時代の聖霊降臨体験者たちでした。血をかかげることで難を避け、全員が紅海を渡る洗礼を受けました。水から上がった彼らは、女預言者ミリアムの太鼓のリズムで、霊に満たされて歌い、聖霊の力のもとに踊りました。しばらく旅したのち、イスラエルの子らはモアブの地に来ました。モアブはロトの子で、ロトと実の娘との間にできた子でした。ロトはアブラハムのいとこでしたから、イスラエルとモアブは親類でした。このことを知っておいてください。モアブ人は真理を知っていました。真理に従って生きていたかどうかは別として。

イスラエルはモアブの境界に差し掛かった時に、使いを出し、王に言いました、「わたしたちは兄弟です。どうかあなたの土地を通らせてください。もし私たちや私たちの家畜が何か食べたり飲んだりしたら、その代価を払います。」しかしバラク王は憤慨しました。ニコライ軍団の首長は、しるしと不思議と聖霊のあらゆる現れを伴う教会、神の栄光を受けて顔を輝かせている人たちを通らせるつもりはありませんでした。それは危険が多すぎます。もしかしたら自分の会衆の一部を失ってしまうかもしれませんから。それでバラクはイスラエルの申し出を拒否しました。それだけでなく、彼はあまりにも彼らを恐れたため、バラムという雇われ預言者のところに行き、神への仲介者とな

イスラエルは選ばれた神の民で、旧約時代の聖霊降臨体験者たちでした。血をかかげることで難を避け、全員が紅海を渡る洗礼を受けました。水から上がった彼らは、女預言者ミリアムの太鼓のリズムで、霊に満たされて歌い、聖霊の力のもとに踊りました。しばらく旅したのち、イスラエルの子らはモアブの地に来ました。モアブはロトの子で、ロトと実の娘との間にできた子でした。ロトはアブラハムのいとこでしたから、イスラエルとモアブは親類でした。このことを知っておいてください。モアブ人は真理を知っていました。真理に従って生きていたかどうかは別として。

イスラエルはモアブの境界に差し掛かった時に、使いを出し、王に言いました、「わたしたちは兄弟です。どうかあなたの土地を通らせてください。もし私たちや私たちの家畜が何か食べたり飲んだりしたら、その代価を払います。」しかしバラク王は憤慨しました。ニコライ軍団の首長は、しるしと不思議と聖霊のあらゆる現れを伴う教会、神の栄光を受けて顔を輝かせている人たちを通らせるつもりはありませんでした。それは危険が多すぎます。もしかしたら自分の会衆の一部を失ってしまうかもしれませんから。それでバラクはイスラエルの申し出を拒否しました。それだけでなく、彼はあまりにも彼らを恐れたため、バラムと

います。神のことばから削ったり、付け加えたりする行為は大変危険です。みことばを変えたり、自分に都合よいように解釈したりした者の行く末は、死と破滅にほかなりません。しかしそれでも恵みの神は叫びます「悔い改めよ」と。ああ、悔い改めの思いはなんと甘くやさしいことか、なにも持たずにあなたの十字架にすがりつく、悲しみだけがあなたへのささげものわたしのすべてを、犯した罪を悔い改めます それは血、イエスの血にほかならない 悔い改めるか、死の劔にかかるか、決めるのはあなた次第です。

報償

「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。わたしは勝利を得る者に隠れたマナを与える。また、彼に白い石を与える。その石には、それを受ける者のほかはだれも知らない、新しい名が書かれている。」

(黙示録 2:17)

各時代に、勝利者となるように信者をはげますことばと、主からのご褒美 が用意されています。この時代には隠れたマナと新しい名前の書かれた白い石が約束されています。

います。神のことばから削ったり、付け加えたりする行為は大変危険です。みことばを変えたり、自分に都合よいように解釈したりした者の行く末は、死と破滅にほかなりません。しかしそれでも恵みの神は叫びます「悔い改めよ」と。ああ、悔い改めの思いはなんと甘くやさしいことか、なにも持たずにあなたの十字架にすがりつく、悲しみだけがあなたへのささげものわたしのすべてを、犯した罪を悔い改めます それは血、イエスの血にほかならない 悔い改めるか、死の劔にかかるか、決めるのはあなた次第です。

報償

「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。わたしは勝利を得る者に隠れたマナを与える。また、彼に白い石を与える。その石には、それを受ける者のほかはだれも知らない、新しい名が書かれている。」

(黙示録 2:17)

各時代に、勝利者となるように信者をはげますことばと、主からのご褒美 が用意されています。この時代には隠れたマナと新しい名前の書かれた白い石が約束されています。

統治し、神は教皇のうちに統治しているのです。彼らにしてみれば、主が来られるのは新しい天と地が用意できてからです。しかしそれは間違いです。教皇は偽の教会の頭領であるし、千年紀はやって来ます。しかし千年紀が訪れるとき、教皇はそこにはいません。彼はどこか別の場所にいることでしょう。

警告

「だから、悔い改めなさい。もしそうしないなら、わたしは、すぐにあなたのところに行き、わたしの口の剣をもって彼らと戦おう。」

(黙示録 2:16)

厳しい言葉ですが、他になんと言えたでしょう。神に、御名をむやみに口にする者の罪を見過ごすことができるでしょうか。罪の時代に恵みを受けるには、ただひとつ、悔い改めるしかありません。間違いを告白して、神のもとに許しと神の霊を求めて近づくことです。これが神の命令です。従わないなら、死が待っています。「わたしの口の剣をもって彼らと戦おう」と、主がそう言っておられるからです。獣は聖徒たちに戦いを仕掛けましたが、神は獣と戦われます。みことばに戦いを挑んだ者は、やがてみことばと戦う羽目におち

統治し、神は教皇のうちに統治しているのです。彼らにしてみれば、主が来られるのは新しい天と地が用意できてからです。しかしそれは間違いです。教皇は偽の教会の頭領であるし、千年紀はやって来ます。しかし千年紀が訪れるとき、教皇はそこにはいません。彼はどこか別の場所にいることでしょう。

警告

「だから、悔い改めなさい。もしそうしないなら、わたしは、すぐにあなたのところに行き、わたしの口の剣をもって彼らと戦おう。」

(黙示録 2:16)

厳しい言葉ですが、他になんと言えたでしょう。神に、御名をむやみに口にする者の罪を見過ごすことができるでしょうか。罪の時代に恵みを受けるには、ただひとつ、悔い改めるしかありません。間違いを告白して、神のもとに許しと神の霊を求めて近づくことです。これが神の命令です。従わないなら、死が待っています。「わたしの口の剣をもって彼らと戦おう」と、主がそう言っておられるからです。獣は聖徒たちに戦いを仕掛けましたが、神は獣と戦われます。みことばに戦いを挑んだ者は、やがてみことばと戦う羽目におち

って全能の神がイスラエルを呪って無力にするように取り計らってほしいと頼みました。バラムは政治的な事に関わるのが好きでしたし、有名になりたいと望んでいましたから、残念なことに喜んで引き受けました。しかし呪いをかけるのは彼の力ではできません。神に近づき、神から意見を聞かなければなりません。それで彼は神に、バラクのところに行つてよいか許しを請いました。ニコライ派に似ていないでしょうか。彼らは自分に賛同しないものを誰でも呪うのです。

バラムが神に、行くことを願いでると、神は行くなとクギを刺しました。しかしバラクはあきらめず、バラムに報酬と名誉の上増しを申し出ました。それでバラクはもう一度神のもとに許可を求めに行きました。今度は立って行けという言葉を受けたので、すぐにロバの背に鞍を置いて出かけました。これが神からの単なる許容であることと、何度行つても何度試みても彼には呪いをかけることができないと彼は気付くべきでした。こんにちも、バラムのような人がどれほどいることでしょう。彼らは三神を信じ、御名の代わりに三つの称号で洗礼を授けています。それでも神はバラムにしたように、彼らの上にも聖霊を注がれるので、彼らは自分たちが正しいことをしていると信じています。彼らは完全なバラム人です。バラムの教えというのは、なんでもいいからやっしまえ、自分のしたいよう

って全能の神がイスラエルを呪って無力にするように取り計らってほしいと頼みました。バラムは政治的な事に関わるのが好きでしたし、有名になりたいと望んでいましたから、残念なことに喜んで引き受けました。しかし呪いをかけるのは彼の力ではできません。神に近づき、神から意見を聞かなければなりません。それで彼は神に、バラクのところに行つてよいか許しを請いました。ニコライ派に似ていないでしょうか。彼らは自分に賛同しないものを誰でも呪うのです。

バラムが神に、行くことを願いでると、神は行くなとクギを刺しました。しかしバラクはあきらめず、バラムに報酬と名誉の上増しを申し出ました。それでバラクはもう一度神のもとに許可を求めに行きました。今度は立って行けという言葉を受けたので、すぐにロバの背に鞍を置いて出かけました。これが神からの単なる許容であることと、何度行つても何度試みても彼には呪いをかけることができないと彼は気付くべきでした。こんにちも、バラムのような人がどれほどいることでしょう。彼らは三神を信じ、御名の代わりに三つの称号で洗礼を授けています。それでも神はバラムにしたように、彼らの上にも聖霊を注がれるので、彼らは自分たちが正しいことをしていると信じています。彼らは完全なバラム人です。バラムの教えというのは、なんでもいいからやっしまえ、自分のしたいよう

にせよ、というものです。彼らは、「神が祝福してくださいましたのだから、正しいに違いない。」と言います。確かに神は祝福されました。それは否定の余地がありません。しかしそれが、バラムがとった策と同じ、組織化への道なのです。誤った教えです。

バラムがやみくもに道を下って行ったところ、途中で神の使いが道の真ん中に立っていました。しかしこの預言者(司教、枢機卿、監督、総裁、総督)は、名声や栄誉や金に心を奪われていたので霊的なことに目が効かず、そのため、抜き身の剣を持って立ちふさがっている天使が見えませんでした。天使は狂った預言者を行かせまいとして立っていたのです。小さなロバは天使を見て、避けようとしてよろけ、バラムの足を石壁にぶつけてしまいました。ロバは一步も動こうとせず、実際、動くことができませんでした。それでバラムは飛び降りてロバを打ちました。するとロバが口をききました。神はロバに異言を語らせたのです。ロバは雑種ではありません。原種です。彼は盲目になっている預言者に言いました。「私はあなたのロバではありませんか。今までずっと忠実に仕えてきたではありませんか。」バラムは答えました、「そうだ、お前は私のロバだ。今まで忠実に私を乗せてくれた。もし行かないなら、殺してしまうぞ……あれ? なんだ、私はロバと話しているぞ。おかしいな、ロバが私に話しかけ、私が応答

にせよ、というものです。彼らは、「神が祝福してくださいましたのだから、正しいに違いない。」と言います。確かに神は祝福されました。それは否定の余地がありません。しかしそれが、バラムがとった策と同じ、組織化への道なのです。誤った教えです。

バラムがやみくもに道を下って行ったところ、途中で神の使いが道の真ん中に立っていました。しかしこの預言者(司教、枢機卿、監督、総裁、総督)は、名声や栄誉や金に心を奪われていたので霊的なことに目が効かず、そのため、抜き身の剣を持って立ちふさがっている天使が見えませんでした。天使は狂った預言者を行かせまいとして立っていたのです。小さなロバは天使を見て、避けようとしてよろけ、バラムの足を石壁にぶつけてしまいました。ロバは一步も動こうとせず、実際、動くことができませんでした。それでバラムは飛び降りてロバを打ちました。するとロバが口をききました。神はロバに異言を語らせたのです。ロバは雑種ではありません。原種です。彼は盲目になっている預言者に言いました。「私はあなたのロバではありませんか。今までずっと忠実に仕えてきたではありませんか。」バラムは答えました、「そうだ、お前は私のロバだ。今まで忠実に私を乗せてくれた。もし行かないなら、殺してしまうぞ……あれ? なんだ、私はロバと話しているぞ。おかしいな、ロバが私に話しかけ、私が応答

このように、食べるということは霊的意味を含んでいるのです。ですから、人々が像にお辞儀したり、蠟燭をつけたり、異教徒の祝日を利用したり、人間に罪を告白したり(これらの行為はすべて悪魔の宗教に帰属します)することによって、彼らは主ではなく、悪魔の儀式に参加していることになるのです。認めようが認めまいが、彼らは偶像崇拝を行なっていました。祭壇や香は主の祈りを想起させるためとも何とも理由をつけることができるでしょう。また、像の前で祈るのは、集中するためであるし、また、司祭に告白するのは、実際は神に対して心を開いているのであって、司祭が許しを宣言するのは、主の名によって司祭が代理で行っている等、彼らは何とでもいうことができます。しかし彼らは名高いバビロンの宗教、つまりサタン礼拝をして偶像と結びつき、霊的姦淫をおこなっているのです。その意味するところは死です。彼らは死んでいます。

教会と国家が婚姻関係を結びました。教会は偶像とつながりました。彼らは国家権力を背後に控えて、「御国は到来した。神のみ旨は地に行われている。」と思ったことでしょう。ローマ・カトリック教会が主イエスの再臨を待ち望んでいないのも無理はありません。彼らは千年紀を待望していません。彼らにとって、千年紀は今地上で実現しているのです。教皇が

このように、食べるということは霊的意味を含んでいるのです。ですから、人々が像にお辞儀したり、蠟燭をつけたり、異教徒の祝日を利用したり、人間に罪を告白したり(これらの行為はすべて悪魔の宗教に帰属します)することによって、彼らは主ではなく、悪魔の儀式に参加していることになるのです。認めようが認めまいが、彼らは偶像崇拝を行なっていました。祭壇や香は主の祈りを想起させるためとも何とも理由をつけることができるでしょう。また、像の前で祈るのは、集中するためであるし、また、司祭に告白するのは、実際は神に対して心を開いているのであって、司祭が許しを宣言するのは、主の名によって司祭が代理で行っている等、彼らは何とでもいうことができます。しかし彼らは名高いバビロンの宗教、つまりサタン礼拝をして偶像と結びつき、霊的姦淫をおこなっているのです。その意味するところは死です。彼らは死んでいます。

教会と国家が婚姻関係を結びました。教会は偶像とつながりました。彼らは国家権力を背後に控えて、「御国は到来した。神のみ旨は地に行われている。」と思ったことでしょう。ローマ・カトリック教会が主イエスの再臨を待ち望んでいないのも無理はありません。彼らは千年紀を待望していません。彼らにとって、千年紀は今地上で実現しているのです。教皇が

祝っています。実際それはアスタロトに捧げる異教の祭りなのです。

教会には祭壇が設けられ、様々な像がおいてあります。また、聖書に書かれていない使徒信条というものを人々に教えています。さらに、先祖礼拝を取り込むことによって、ローマカトリック教会は世界最大の霊媒教会となりました。あらゆる汚れた鳥がその檻の中に入りました。プロテスタント教会も、組織化することで同じことをしています。

彼らは偶像に供えたものを食べました。もちろん文字どおり偶像に捧げた犠牲の肉を食べたという意味ではありません。エルサレムの会議は偶像に供えた肉について触れましたが、パウロは、偶像はつまらないものと言って、あまり重視しませんでした。それは単に意識の問題なのですが、弱い兄弟をつまづかせるような場合は、してはいけないこととされました。それにこの啓示は異邦人教会のことなので、異邦人に向けられたものであり、ユダヤ人には当てはまりません。主の語られたことから、ヒントを見いだすと、「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲まなければ、あなたがたのうちにはいのちはない。人はパンのみにて生きるのではない。神の口から出るひとつひとつのことばによって生きるのである。」

祝っています。実際それはアスタロトに捧げる異教の祭りなのです。

教会には祭壇が設けられ、様々な像がおいてあります。また、聖書に書かれていない使徒信条というものを人々に教えています。さらに、先祖礼拝を取り込むことによって、ローマカトリック教会は世界最大の霊媒教会となりました。あらゆる汚れた鳥がその檻の中に入りました。プロテスタント教会も、組織化することで同じことをしています。

彼らは偶像に供えたものを食べました。もちろん文字どおり偶像に捧げた犠牲の肉を食べたという意味ではありません。エルサレムの会議は偶像に供えた肉について触れましたが、パウロは、偶像はつまらないものと言って、あまり重視しませんでした。それは単に意識の問題なのですが、弱い兄弟をつまづかせるような場合は、してはいけないこととされました。それにこの啓示は異邦人教会のことなので、異邦人に向けられたものであり、ユダヤ人には当てはまりません。主の語られたことから、ヒントを見いだすと、「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲まなければ、あなたがたのうちにはいのちはない。人はパンのみにて生きるのではない。神の口から出るひとつひとつのことばによって生きるのである。」

した気がする。」

神はいつも異言で語られます。ベルシャツアル王の宴会の時も、聖霊降臨の時も異言で語られました。こんにちでもまた、そうされます。それは、まもなくやって来る裁きへの警告です。

バラムにもやっと天使が見えました。天使はバラムに、神を試みたのだから、もしロバがいなかったら、おまえは死んでいたと告げました。バラムは引き返すと言いましたが、天使は、神が告げることを告げるよう忠告して、彼を行かせました。

バラムは下って行って、きよい家畜をささげるための七つの祭壇を築き、来たる救い主を意味する子羊を殺しました。神に近づくために何をするかを、彼はよく知っていました。しかし彼は、技術的なことはきちんとわきまえていましたが、原動力を知りませんでした。こんにちでも同じです。ニコライ派の原理が見えませんか？ 谷のキャンプ地でイスラエルも同様のいけにえをささげ、同様のことをしていましたが、彼らにはしるしが伴っていました。こちらには神がともにおられたからです。形式だけでは何にもなりません。霊の現れに取って代わることはできません。これがニケア会議で起こったことです。彼らは神の教えではなく、バラムの教えでごまかしたのです。彼らはつまずいて倒れま

した気がする。」

神はいつも異言で語られます。ベルシャツアル王の宴会の時も、聖霊降臨の時も異言で語られました。こんにちでもまた、そうされます。それは、まもなくやって来る裁きへの警告です。

バラムにもやっと天使が見えました。天使はバラムに、神を試みたのだから、もしロバがいなかったら、おまえは死んでいたと告げました。バラムは引き返すと言いましたが、天使は、神が告げることを告げるよう忠告して、彼を行かせました。

バラムは下って行って、きよい家畜をささげるための七つの祭壇を築き、来たる救い主を意味する子羊を殺しました。神に近づくために何をするかを、彼はよく知っていました。しかし彼は、技術的なことはきちんとわきまえていましたが、原動力を知りませんでした。こんにちでも同じです。ニコライ派の原理が見えませんか？ 谷のキャンプ地でイスラエルも同様のいけにえをささげ、同様のことをしていましたが、彼らにはしるしが伴っていました。こちらには神がともにおられたからです。形式だけでは何にもなりません。霊の現れに取って代わることはできません。これがニケア会議で起こったことです。彼らは神の教えではなく、バラムの教えでごまかしたのです。彼らはつまずいて倒れま

した。そして死んだ人になりました。

いけにえをささげたあと、バラムは預言状態に入りました。しかし神が彼の舌を制したので、呪うどころか、かえって祝福しました。

バラクは怒りを発しましたが、バラム自らの力で預言することはできませんでした。預言は神が語られるからです。バラクは、今度は谷を下りたところに行って、裏側からイスラエルを観察して、何か呪うことができる要素を見つけるようバラムに命じました。バラクが用いたこの策は、こんにち使われているものと同じです。大きな教団は小さな群れを見おろして、何かスキャンダルになりそうなことを探し出し、それを騒ぎ立てます。モダンな人が罪に生きても、誰も何も言いませんが、選ばれた者が何か問題を起こすと、新聞が一斉に取り上げて国中が騒ぎ出します。そうです、イスラエルにも裏(肉欲)の面があり、それは決して褒められることではありませんでした。しかし、欠点があるにもかかわらず、神の選びによって、行いではなく恵みによって、彼らには昼には雲の柱、夜には火の柱がともにおり、打つと水がほとぼしり出る岩、炎の蛇やしるしや不思議が伴っていました。彼らは己れによってではなく、神によって正当性を得ていたのです。

神は、ニコライ派が学術博士号だの法学博士号

した。そして死んだ人になりました。

いけにえをささげたあと、バラムは預言状態に入りました。しかし神が彼の舌を制したので、呪うどころか、かえって祝福しました。

バラクは怒りを発しましたが、バラム自らの力で預言することはできませんでした。預言は神が語られるからです。バラクは、今度は谷を下りたところに行って、裏側からイスラエルを観察して、何か呪うことができる要素を見つけるようバラムに命じました。バラクが用いたこの策は、こんにち使われているものと同じです。大きな教団は小さな群れを見おろして、何かスキャンダルになりそうなことを探し出し、それを騒ぎ立てます。モダンな人が罪に生きても、誰も何も言いませんが、選ばれた者が何か問題を起こすと、新聞が一斉に取り上げて国中が騒ぎ出します。そうです、イスラエルにも裏(肉欲)の面があり、それは決して褒められることではありませんでした。しかし、欠点があるにもかかわらず、神の選びによって、行いではなく恵みによって、彼らには昼には雲の柱、夜には火の柱がともにおり、打つと水がほとぼしり出る岩、炎の蛇やしるしや不思議が伴っていました。彼らは己れによってではなく、神によって正当性を得ていたのです。

神は、ニコライ派が学術博士号だの法学博士号

肉体的姦淫と組織的宗教には同じ霊が作用していることをご存知ですか? 偶像礼拝(姦淫)の霊は、組織の霊なのです。すべての偶像礼拝には火の池という場所が用意されています。神は組織を偶像礼拝と考えておられます。大淫婦とその娘たちの行き先は火の池となります。

教団は神に由来するものではありません。過去においても未来もずっと、神とは関係ありません。神とは違う霊が、神の人々を区別して、支配層と俗人に分けているのです。つまり、悪い霊が人と人を分け隔てしているのです。そして、教会組織や教団教派がそうさせています。組織化するということは、神のことばから自らを引き離し、霊的姦淫を行なうことなのです。

コンスタンティヌス帝は特別な祭りをもたらしました。それらの祭りは、異教の祭りに教会から名前をとってつけたものです。あるいはキリスト教の祭礼に異教の儀式的要素を取り入れたものもあります。彼は太陽神の崇拝を神の子に変えてしまいました。太陽神の祭りを祝う12月21日を、12月25日に変えて、神の子の誕生日としました。しかしイエスは、12月ではなく、生命が誕生する4月に生まれました(訳注:今では、秋に生まれたというのが定説)。それからアスタロト神の祭りを、本来ならばクリスチャンは主の死と復活を祝うべきなのに、イースターと呼び変えて

肉体的姦淫と組織的宗教には同じ霊が作用していることをご存知ですか? 偶像礼拝(姦淫)の霊は、組織の霊なのです。すべての偶像礼拝には火の池という場所が用意されています。神は組織を偶像礼拝と考えておられます。大淫婦とその娘たちの行き先は火の池となります。

教団は神に由来するものではありません。過去においても未来もずっと、神とは関係ありません。神とは違う霊が、神の人々を区別して、支配層と俗人に分けているのです。つまり、悪い霊が人と人を分け隔てしているのです。そして、教会組織や教団教派がそうさせています。組織化するということは、神のことばから自らを引き離し、霊的姦淫を行なうことなのです。

コンスタンティヌス帝は特別な祭りをもたらしました。それらの祭りは、異教の祭りに教会から名前をとってつけたものです。あるいはキリスト教の祭礼に異教の儀式的要素を取り入れたものもあります。彼は太陽神の崇拝を神の子に変えてしまいました。太陽神の祭りを祝う12月21日を、12月25日に変えて、神の子の誕生日としました。しかしイエスは、12月ではなく、生命が誕生する4月に生まれました(訳注:今では、秋に生まれたというのが定説)。それからアスタロト神の祭りを、本来ならばクリスチャンは主の死と復活を祝うべきなのに、イースターと呼び変えて

食いし、立って言われたとおりに行動すると、(教会の形式や儀式や、キリスト教の儀式の名が付けられた異教の祭典に参加して)罨にかかってしまいました。教会は偶像崇拜の罪を犯してしまったのです。神は立ち去られました。

誰でも神のことばに背を向けて、聖霊を受ける代わりに教会組織に属するなら、その人は死にます。死んだ人になってしまいます。教会に属してはいけません。組織に入って教条や伝統や、みことばや御霊に取って代わる何かを受け入れるなら、死にます。死んで永遠に神から切り離されます。

以来、どの時代にも同じことが起こりました。神は人々を解放されます。彼らは血によって解放され、みことばによって清められ、水の洗礼を受け、御霊に満たされます。しかし、しばらくすると最初の愛が冷めてしまいます。すると、誰かが、自らを守り名を残すために、組織化することを提案します。そして二代先には、あるいはその前に、自分たちを組織の一部にしてしまいます。組織の中には神の霊はおられません。単なる形式的礼拝があるのみです。彼らは死んでいます。自らすすんで教条や形式を取り入れて雑種となり、いのちを持たない者になってしまいました。

バラムはイスラエルに姦淫の罪を犯させました。

食いし、立って言われたとおりに行動すると、(教会の形式や儀式や、キリスト教の儀式の名が付けられた異教の祭典に参加して)罨にかかってしまいました。教会は偶像崇拜の罪を犯してしまったのです。神は立ち去られました。

誰でも神のことばに背を向けて、聖霊を受ける代わりに教会組織に属するなら、その人は死にます。死んだ人になってしまいます。教会に属してはいけません。組織に入って教条や伝統や、みことばや御霊に取って代わる何かを受け入れるなら、死にます。死んで永遠に神から切り離されます。

以来、どの時代にも同じことが起こりました。神は人々を解放されます。彼らは血によって解放され、みことばによって清められ、水の洗礼を受け、御霊に満たされます。しかし、しばらくすると最初の愛が冷めてしまいます。すると、誰かが、自らを守り名を残すために、組織化することを提案します。そして二代先には、あるいはその前に、自分たちを組織の一部にしてしまいます。組織の中には神の霊はおられません。単なる形式的礼拝があるのみです。彼らは死んでいます。自らすすんで教条や形式を取り入れて雑種となり、いのちを持たない者になってしまいました。

バラムはイスラエルに姦淫の罪を犯させました。

だの要求支払いが替手形(言葉のあや)だのを持っていることや、立派な組織や自慢できる最高のものを持っていることを尊重されませんでした。しかしイスラエルには、みことばがともにあり、それが実証されていたので、神はそのことを尊重されました。確かにイスラエルは、エジプトから絶体絶命の脱出をしてきたばかりでしたので、洗練されたとは言いがたい状態にありました。しかし祝福された民には違いありませんでした。家畜を飼い、牧草地の手入れをし、それからエジプト人の支配下で死の恐怖にさらされながら奴隷として働いて 300 年経ち、やっと自由の身になりました。イスラエルは神の主権のもとで、祝福された民でした。当然のようにモアブはイスラエルを見下し、他の国々も同様にしました。組織団体は、常に組織化されていないものを見くぢます。それから、躍起になって彼らを組織に組み込もうとするか、あるいは拒否された場合彼らを潰しにかかります。

「ブラナム兄弟、どうして、モアブが組織化されていてイスラエルがそうでないと思うのか。どこからそんな考えが出てきたのか?」と、尋ねる人がいるかもしれませんが。その根拠は聖書で、典型として記されています。旧約聖書に物語形式で記されているのは、そこから私たちが教訓を得るために書かれているのです。

「岩山の頂から私はこれを見、丘の

だの要求支払いが替手形(言葉のあや)だのを持っていることや、立派な組織や自慢できる最高のものを持っていることを尊重されませんでした。しかしイスラエルには、みことばがともにあり、それが実証されていたので、神はそのことを尊重されました。確かにイスラエルは、エジプトから絶体絶命の脱出をしてきたばかりでしたので、洗練されたとは言いがたい状態にありました。しかし祝福された民には違いありませんでした。家畜を飼い、牧草地の手入れをし、それからエジプト人の支配下で死の恐怖にさらされながら奴隷として働いて 300 年経ち、やっと自由の身になりました。イスラエルは神の主権のもとで、祝福された民でした。当然のようにモアブはイスラエルを見下し、他の国々も同様にしました。組織団体は、常に組織化されていないものを見くぢます。それから、躍起になって彼らを組織に組み込もうとするか、あるいは拒否された場合彼らを潰しにかかります。

「ブラナム兄弟、どうして、モアブが組織化されていてイスラエルがそうでないと思うのか。どこからそんな考えが出てきたのか?」と、尋ねる人がいるかもしれませんが。その根拠は聖書で、典型として記されています。旧約聖書に物語形式で記されているのは、そこから私たちが教訓を得るために書かれているのです。

「岩山の頂から私はこれを見、丘の

上から私はこれを見つめる。見よ。この民は一人離れて住み、おのれを諸国の民の一つと認めない。」

(民数記 23:9)

神は岩山の上からイスラエルを見おろしています。谷からの目線で短所を見つけて非難しようとしているわけではありません。愛と哀れみの高みから、神はご自分が望まれるように彼らを見ておられます。イスラエルは孤立して住み、組織化されていませんでした。彼らには王がいませんでした。しかし預言者がいました。霊によって神と深く結びついている預言者がいて、みことばが彼をとおして与えられ、民は彼をとおしてみことばを聞きました。彼らは国連にも、世界教会協議会にも、バプテスト教会にも、長老教会にも、アッセンブリーオブゴッド教会にも、いかなる団体にも属していませんでした。団体に属する必要がなかったからです。彼らは神とつながっていました。宗教会議から忠告を受ける必要はありませんでした。彼らの真ただ中に、「主はこう言われる」と叫ぶ声があったからです。ハレルヤ!

さて、バラムは特別な力を授かっていたおかげで、神に近づいて、主から啓示を受け取る方法を知っていましたが、それでもやはり偽の団体に属する司教

上から私はこれを見つめる。見よ。この民は一人離れて住み、おのれを諸国の民の一つと認めない。」

(民数記 23:9)

神は岩山の上からイスラエルを見おろしています。谷からの目線で短所を見つけて非難しようとしているわけではありません。愛と哀れみの高みから、神はご自分が望まれるように彼らを見ておられます。イスラエルは孤立して住み、組織化されていませんでした。彼らには王がいませんでした。しかし預言者がいました。霊によって神と深く結びついている預言者がいて、みことばが彼をとおして与えられ、民は彼をとおしてみことばを聞きました。彼らは国連にも、世界教会協議会にも、バプテスト教会にも、長老教会にも、アッセンブリーオブゴッド教会にも、いかなる団体にも属していませんでした。団体に属する必要がなかったからです。彼らは神とつながっていました。宗教会議から忠告を受ける必要はありませんでした。彼らの真ただ中に、「主はこう言われる」と叫ぶ声があったからです。ハレルヤ!

さて、バラムは特別な力を授かっていたおかげで、神に近づいて、主から啓示を受け取る方法を知っていましたが、それでもやはり偽の団体に属する司教

でした。バラクの歡心を買うために彼は何をしたでしょう。彼は、神がイスラエルを死に追いやるように計らったのです。それは、イヴを欺く(肉体的に罪を犯させる)ことができるれば、神は罰として死を宣告することをサタンが知っていたのと同じです。バラムも、イスラエルに罪を犯させることができれば、神は彼らを死に追いやらなければならないことを知っていました。それで彼は、イスラエルを誘いよせて、罪の仲間入りをさせようと考えました。彼はバアル・ペオルの祭りに参加するように誘いました。イスラエルはエジプト人の祭りを数多く見てきましたし、別に行って、祭りを見てモアブの人たちと食べたりするのもまんざら悪いことではないと思っていたに違いありません。(交流することはいけないことであろうか?彼らは愛すべきではないか、さもなければどうして彼らを勝ち取ることができるであろう?) 親しくすることは誰の害にもならない。彼らはそう思いました。しかし、魅惑的なモアブ女たちが踊り始め、腰をふりふり服を脱ぎ始めたとき、イスラエル人に欲望が目覚め、姦淫を犯してしまいました。そのとき神の怒りが下って、42,000人のイスラエル人が殺害されました。

これはコンスタンティヌス帝と継承者がニケア会議やニケア会議後に行ったことと同じです。彼らは神の人たちを会議に招待しました。教会が同席して飲み

でした。バラクの歡心を買うために彼は何をしたでしょう。彼は、神がイスラエルを死に追いやるように計らったのです。それは、イヴを欺く(肉体的に罪を犯させる)ことができるれば、神は罰として死を宣告することをサタンが知っていたのと同じです。バラムも、イスラエルに罪を犯させることができれば、神は彼らを死に追いやらなければならないことを知っていました。それで彼は、イスラエルを誘いよせて、罪の仲間入りをさせようと考えました。彼はバアル・ペオルの祭りに参加するように誘いました。イスラエルはエジプト人の祭りを数多く見てきましたし、別に行って、祭りを見てモアブの人たちと食べたりするのもまんざら悪いことではないと思っていたに違いありません。(交流することはいけないことであろうか?彼らは愛すべきではないか、さもなければどうして彼らを勝ち取ることができるであろう?) 親しくすることは誰の害にもならない。彼らはそう思いました。しかし、魅惑的なモアブ女たちが踊り始め、腰をふりふり服を脱ぎ始めたとき、イスラエル人に欲望が目覚め、姦淫を犯してしまいました。そのとき神の怒りが下って、42,000人のイスラエル人が殺害されました。

これはコンスタンティヌス帝と継承者がニケア会議やニケア会議後に行ったことと同じです。彼らは神の人たちを会議に招待しました。教会が同席して飲み